

金 環 第 181 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

金山町長 鈴木 洋



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼ありました、標記のことについて
下記のとおり提出します。

記

提出物	様式①	1部
	様式②	1部
	様式③	1部
	様式④	1部

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県金山町

1) 基幹となる高規格幹線道路のネットワーク整備については、国が責任を持って整備を行うこと。

地方においては都市部と比べ高規格幹線道路を始めとした道路の整備が遅れております。

閉塞間がある地域経済を活性化させ、地域間の格差是正のためにも人的物的交流を拡大することが重要となっております。地場産品の販路拡大、企業誘致の推進、さらには圏域間交流を図るために南北軸・東西軸のネットワークが不可欠であります。国土の均衡ある発展のためにも幹線道路の整備については、責任を持って早期に実施すべきであります。また、環境アセスメントを十分に行い、自然に優しい・自然と融合した整備を行うべきであります。

建設促進を図るうえで、県際含めた予定路線（新庄北～主寝坂道路間、主寝坂道路～院内道路間）の計画路線格上げを早急に図るべきと考えます。

2) 中期計画における点検評価（費用便益度）について地方の整備効果を反映させること。

通行量・効率のみが優先された道路建設の判断基準は、更なる都市部の環境悪化や地方衰退と格差の拡大を生み出します。

全国的な人口減少の流れの中にあって、少子高齢化の進展が顕著で公共交通機関の充実していない当地域にあっては、自動車交通への依存度は高く、頼らざるを得ない状況にあります。

“真に必要な道路”の判断基準として、積雪寒冷地にあり冬期間における時間的効率の悪さ、災害時には大きく迂回せざるを得ないことによる経済損失の大きさ、また、緊急時の高度医療機関への搬送時間を要しているといった地域生活に大きな影響を与えている現状を考慮すべきと考えます。

3) 地方道整備に係る特財等を充実すること。

自動車交通に依存する当地域において、地域住民の安全・安心につながる道路の整備、地方経済の活性化、また、生活環境に配慮した道路の整備を推進するため、地方道路整備臨時交付金制度の継続と充実は不可欠であります。

冬期間交通を確保するうえでも雪寒道路指定基準の緩和と拡充すべきと考えます。また、地域の実情にあった道路建設に結びつく道路構造令の緩和については大いに歓迎するところであり、地方道の整備促進につながると期待するものです。

道路整備に充てる財源配分については、自動車保有率が高く自動車交通の依存度の高い地域に対しての傾斜配分に努めることも考えてみてはいかがでしょう。

②－１ 地域の現状と抱える課題

山形県金山町

○現状

道路整備の遅れにより、流通現状においては時間とコストの面で産業の衰退と人口の都市流出を生じさせております。

当地域においても少子高齢化の進展は顕著であります。緊急時における高度医療機関への搬送には時間を要しており、救命率にも影響を及ぼしております。

地域経済を支える一般国道１３号は、通勤通学時においても重要な役割を果たしておりますが、高規格道路の部分供用により、交通量の増加や通行車輛の大型化が目立ち危険度が増してきております。

当町を含む最上地域は積雪寒冷の気候で、全国でも有数の豪雪地帯であります。特別豪雪地帯にも指定されており、冬期間の交通確保は日常生活において欠かせないものとなっております。

当地域の一般国道は、冬期間の積雪や異常降雨などによる災害発生時に通行止めになると大幅な迂回路を余儀なくされております。地域経済に及ぼす影響は大きなものとなっております。

既存の道路橋梁についての維持修繕等は、地域生活の安全安心を確保するうえで欠かせません。住民の要望に対応するためには相当の時間を要し、安全の確保に支障をきたす状況にあります。

○課題

物流の安定性、地域生活の安全安心を進める上でも高規格幹線道路の早期全線供用が求められる。

高度医療機関への搬送時間を出来るだけ短縮し、救命率を高めることが求められる。高規格道路へのアクセス道の整備も必要。

一般国道における渋滞の緩和や自歩道整備等、安全な通行の確保がこれまで以上に求められる。

冬期間の除排雪対策を実施することは、住民生活の安全安心を図り、円滑な自動車交通を確保することにつながる。また、積雪地ならではの除排雪対策として、流雪溝の整備が求められている。こうした地域の特殊性を考慮した予算措置がもとめられる。

県際整備を重点に高規格幹線道路の全線供用が急務となっており、同時に南北に走る１３号、東西に走る４７号の円滑な交通確保が必要となっている。

地方道路交付金事業の継続・充実が求められる。

②－２ 地域の目指すべき将来像

山形県金山町

自動車交通への依存度の高い当地域にあって、高規格幹線道路（県際を含め、南北軸・東西軸）が全線整備供用されることは人的物的交流が活発になり、地域間交流の拡大による地域の活性化に大きな力となります。

自動車通行の円滑化が図られることにより、時間短縮の効果を生み、さらには排気ガスの減少や燃費の向上等につながり環境に優しい交通の確保に大いに寄与いたします。

また、時間ロスのない物流の効率化は輸送コストの縮減を生み、企業立地の誘導にもつながります。さらには災害発生時や緊急時の高度医療機関への迅速な搬送へも対応できます。物的人的移動に要する時間の大幅な短縮は、地域間交流の促進につながり、地域に与える効果は絶大なものがあります。

隣県においては、宮城県内にトヨタ系列の関連企業の本社移転が決まり、関連工場の建設・雇用の確保等地域経済の高揚が期待されております。また、資材や製品の搬送に関しては、コスト面から輸出入の拠点となる近隣の港湾が注目を集めております。東西軸の整備が進めば、注目されている東アジアへの拠点として日本海側での物資の積出・搬入に大きな期待がもたれておりますし、移転地域に近い当地域にとっては関連した企業の誘致、雇用の拡大にも期待しております。

地場産品の販路拡大に際しても大消費地から遠隔地に位置していたことから、一般国道と高速道路を併用しながらの輸送路であったため災害時の迂回対応など時間的制約を受けていることから市場評価において不利な現状にあります。高規格幹線道路が全線供用されれば時間的ロスの解消につながり、企業の誘致にも弾みがかかることはもとより従来からの第１次産業の振興にも弾みが付き、地域の活力も増すことが期待されます。

部分供用となっている高規格幹線道路は、東北中央自動車道としての機能を十分に発揮させるためにも早急に全線供用することが重要です。

自動車交通に頼らざるを得ない、また、積雪寒冷地域にあって、住民の安全安心を確保し、地場産業を振興発展させるためにも災害に強い道路網の整備が必要です。道路網の整備は、隣県を含む東北地方が一体となった豊かな自然を活かした巡回型観光の確立、既存産業の振興、圏域間の交流促進を促すことにつながります。交流を深めることで、人口の流出に歯止めをかけ、地域の活力向上も期待されます。地域経済の活発化、地域間格差の解消を目指すものです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表例、期待する効果や評価等）

山形県金山町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・高規格幹線道路の早期全線開通 ・一般国道の交差点改良（右折レーンの設置） ・既設橋梁の補修、架け替え、交差点改良 ・地方道路整備臨時交付金制度の継続と拡充 ・雪寒路線の指定緩和（生活に即した認定）	・県際の供用開始（仮称雄勝道路及び新庄北・主寝坂道路間） ・国道１３号新泉田橋附近市道交差点（新庄市泉田地内） ・国道１３号上台橋、町道交差点 ・道路維持及び橋梁の長寿命化 ・幹線道路を結ぶ広域農道等の指定	・物的人的交流の促進が図られ、地域経済に果たす効果は大きく、災害時における一般国道の迂回解消につながる。 ・渋滞の解消、交差点通行の安全確保につながる。通勤通学時の安全確保。 ・通過車輛の大型化、増加による橋梁の耐久度向上を図り、交差点通行の安全確保 ・地方道の円滑な維持、管理が推進される ・冬期間交通の円滑な確保、並びに歩行者の安全の確保につながる	